

令和 7 年度 第 2 回 埼玉支部評議会 議事概要

開 催 日	令和 7 年 7 月 15 日（火）15:00～16:10
出席評議員	秋葉評議員、安藤評議員、桑原評議員、小泉評議員、甲原評議員、小林評議員、高場評議員、中川評議員、町田評議員（五十音順）
開催場所	全国健康保険協会埼玉支部 大会議室 さいたま市大宮区錦町 682-2 大宮情報文化センター（JACK 大宮）17 階
議 題	【報告事項】 ①2024(令和6)年度協会けんぽ決算(見込み)について ②2025(令和7)年度埼玉支部事業計画実施状況について ③その他報告事項について

議 事 概 要	
評議員からの意見、質問及びそれらに対する事務局からの回答は以下のとおり。 ① <u>2024(令和6)年度協会けんぽ決算(見込み)について(協議事項)</u> (学識経験者) 準備金残高が 5 兆 8,662 億円になっているということだが、普通預金と定期預金に預けている割合はどうなっているのか。 (事務局) 準備金の一部を定期預金として運用しており、運用収入は約 28 億 8 千万円になる。 (学識経験者) その運用収入だと、準備金のほとんどを普通預金で運用していることになる。健康保険法施行令では国債等で運用してもよいことになっている。現在の金融市場においては、10 年利回りで定期預金がおおよそ 0.5%、国債は 1.57%であり、普通預金とはかなりの差がある。 リスク面では、国は債務不履行にならないという前提でいうと、銀行は倒産する可能性があり、そうなった場合、決済用預金以外の預金について、1,000 万円を超える預金は預金保険制度から保護されないため、国債より銀行預金のほうがリスクは高いと言える。経済学的に考えると、金利が低く、リスクの高い銀行預金に預ける理由が理解できない。 預金の流動性の確保では、例えば 3 兆円程度を普通預金に預け入れ、当面は使わないであろう 3 兆円を 5 年利回りの国債、地方債、または政府保証債で運用するなど、運用面の努力をしていくべきではないかということを改めて意見させていただく。 (事務局) 準備金の役割は、短期的な資金繰りに充てるための運転資金や、季節性インフルエンザ等の流行によ	

る一時的な医療給付費の増加などのリスクに備えるために確保している。準備金は、必要なときに引き出すことができるようにしておかなければならない。他支部評議会でも、銀行預金だけでなく国債での運用など、準備金の効果的な活用が必要であるとの意見もある。協会では、準備金を持つ財政を中長期的に安定させる役割の一つとして、銀行預金以外の運用についても検討しているところである。

(学識経験者)

準備金の運用では、なぜ預金保険制度で全額保護される当座預金などの決済用預金でなく、リスクが高い普通預金に預けているのか。準備金残高が 5 兆 8,662 億円になっていることから、単に普通預金に預けているだけでなく、専門家の意見を聞いて運用やリスクについて議論していく必要があると考える。公的年金の積立金は、専門機関にて運用している。協会の準備金は、年金積立金と性質が異なるものであるが、運用にあたっては色々と工夫していただきたい。

(学識経験者)

医療費については、新型コロナの特殊要因で伸びが抑えられているとのことだが、今後の見通しでは増加していくことになるのか。

(事務局)

昨年の収支見通しでは、医療給付費は 2026 年度以降 3.2%で推移することを想定している。

(学識経験者)

保険料収入では、被保険者数の増加が影響しているとのことであったが、報酬が低く保険料収入が少ない方の加入が増えることが協会財政に与える影響が予測できない状況では、保険料率を下げるといったことは厳しいと感じる。協会財政の持続可能性を確保するためにも、準備金の効果的な運用が必要になると考える。

② 2025(令和7)年度埼玉支部事業計画実施状況について(報告事項)

(学識経験者)

資料 2-1 の事業者健診データ取得率(KPI)の令和 7 年 4 月末実績(0.5%)などの保健事業の実績の記載について、中間報告的には意味がない数字である。「一」の表記や前年同時期の実績を参考に記載するなど工夫していただきたい。

③ その他報告事項について(報告事項)

(学識経験者)

資格確認書について、埼玉支部加入者に対しては 10 月の下旬に送付するとのことだが、不着となり事業所経由での配布となった場合、本人の手元に届くのが、保険証が使用できなくなる 12 月 2 日間際になってしまう。このスケジュールについては、事業所にしっかり周知したほうが良いのではないかと。

(事務局)

このスケジュールについてはしっかり周知広報していく。

特記事項

・次回は、令和 7 年 10 月 24 日開催予定